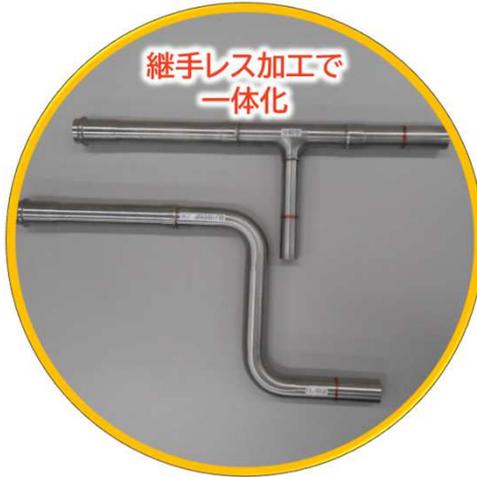


FP35は、これまで建設業界で主流ではなかった「フェライト系ステンレス鋼(SUS436L)」を採用、ステンレス加工技術により「管+継手を一体化(継手レス加工)」し、「工場で生産したプレハブ配管同士を施工現場において接続」する配管システムです。



自動車業界で実績ある材料



自動車業界で培った加工技術



建設現場での省力化に貢献

「フェライト鋼管」×「管と継手の一体化」×「プレハブ加工」を融合

「耐用年数向上・施工省力化・CO<sub>2</sub>排出量低減」を実現するシステム

### 耐用年数向上(ライフサイクルコスト低減)

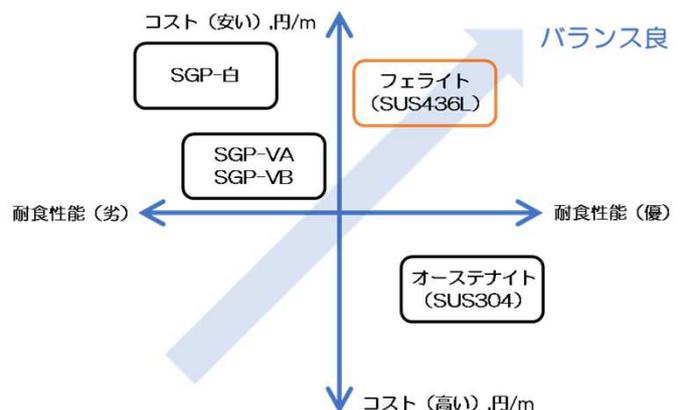
空調用冷水管に適用した場合、炭素鋼鋼管(SGP-白)に比べて、2倍以上の期待効果。(使用条件、環境により異なる)

### 施工省力化

配管接続の簡素化と軽量化で作業負荷が低減され、工期短縮の期待効果(配管重量:約1/3, 接続箇所:約1/2, 施工時間:約1/2)※

### CO<sub>2</sub>排出量低減

炭素鋼管(SGP-白)からの軽量化によるCO<sub>2</sub>排出量低減の期待効果。(弊社案件実績の場合、▲21%)



フェライト系ステンレス配管の特徴  
(レアメタルのNiを含まない廉価材)

※案件規模、配管経路による

		プレス式管継手	遊合型フランジ式継手	
呼び径	20Su(D22.2)	●		
	25Su(D28.6)	●		
	30Su(D34.0)	●		
	40Su(D42.7)	●		
	50Su(D48.6)	●		
	60Su(D60.5)			●
	75Su(D76.3)			●
	80Su(D89.1)			●
	100Su(D114.3)			●
適用規格 (準拠)	鋼管	JIS G 3459 (配管用ステンレス鋼管)		
	継手	SAS 322 (一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準)	SAS 363(管端つば出しステンレス鋼管継手) JIS B 2220(鋼製管フランジ)	
	加工管	SAS 371 (建築設備用ステンレス配管プレハブ加工部材)		

## 最高使用圧力

2.0MPa

## 使用媒体

水  
水道法第4条規定に基づく「水質基準」

空気  
圧縮空気品質等級JIS B 8392-1  
等級2(油分:0.1mg/m<sup>3</sup>以下程度)

## 適用管種

空調用冷温水管  
空調用加湿給水管  
圧縮空気配管  
工業用水配管

(適用検証中)  
雨水排水管  
消火配管、給湯管、給水管

## 使用温度

0~80℃  
内部流体、温度の条件で数値は変動します

## 【施工事例】

2021年3月竣工の弊社案件に施工済。

加工管部材数:154

適用管種と長さ

空調用加湿給水管:99m

圧縮空気配管:212m



配管状況

部材数低減効果:▲58%

(SGP-白との比較)



接続作業の様子

## 【実績】

- ・K社工場(茨城県結城市)更新工事 工場ユーティリティ(圧縮空気)
- ・T社工場(愛知県豊田市)更新工事 工場ユーティリティ(工業用水)
- ・Y社工場(福岡県北九州市)新築工事 工場ユーティリティ(圧縮空気)

「自動車で培った加工技術と品質で貢献します」

【お問い合わせ先】  
(株)三五 FP35事業推進室  
TEL:0561-34-9517  
MAIL: mt-nakamura@sango.co.jp

三五HPは  
こちらから→

